

## 1 国語に関する調査

## 【特長】

- 目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができる。
- 情報と情報とを関係付けたり、図などで語句と語句との関係の表し方を理解し使ったりすることができる。

## 【課題】

- 日ごろから、新出漢字の練習を重ねているものの、学習した漢字を文章で正しく使うことに課題がある。漢字の意味や使い方を理解し、適切に使う力や習慣を身につけていく必要がある。
- 話すときの言葉と書くときの言葉の違いを理解することや、資料を活用しながら自分の考えが伝わるように表現することに課題がある。日ごろから学校生活の様々な場面で相手に考えが伝わるような話し方を身につけさせていく必要がある。

## 2 算数に関する調査

## 【特長】

- 「数と計算」の領域では、数量の関係を口を用いた式に表すことができる。授業で、式を立てるための練習を積み重ねてきた結果であると考ええる。
- 「データの活用」の領域では、円グラフの特徴を理解し、円グラフから割合を読み取ることができる。

## 【課題】

- 「変化と関係」の領域では、速さについての設問で、時間を基にして考え、答えた理由を言葉や数を用いて記述することに課題がある。授業で「何を問われているか」「何をすれば解けるか」の手順を踏んで考え、理由も述べる学習を重ねていく必要がある。
- 「数と計算」の領域では、計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えや式を言葉で説明することに課題がある。問題解決の課程や結果を図や式などを用いて伝え合う活動を通して、計算の仕方についての理解を深められるようにする必要がある。

### 3 児童質問紙の結果より

#### 【特長】

- ・「いじめはどんな理由があってもしてはいけない」と自覚し、人が困っているときは進んで助けようとしている児童や、人の役に立つ人間になりたいと思う児童が多い。
- ・友達関係に満足している児童や、普段の生活の中で幸せな気持ちになる児童が多い。学校生活を前向きにとらえていて、お互いの良さを認め合えるような様々な活動を通して指導を続けてきた成果と言える。

#### 【課題】

- ・放課後の家庭学習は取り組む時間が1時間以下の児童の割合が高い。家庭との連携を図り、協力も得ながら、学習した内容の定着を図っていけるよう指導をしていきたい。
- ・授業で学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直す児童の割合が低い。自ら学習に取り組み深めようとする態度を育てていきたい。

### 授業・学校生活の充実に向けた取組

- ・読書を推進し、たくさんの文章に触れるとともに、文章の推敲や要約を学習する機会を充実させ、定着を図るように取り組んでいく。
- ・漢字を学習する際には、漢字の意味や使い方を理解させ、語彙力を高め、実際に文章を書く中で適切に使えるように取り組んでいく。
- ・何かをやり遂げた喜びや努力に基づく成功体験など、自分の伸びや変化が実感でき、自己肯定感が高められるような指導をしていく。
- ・家庭と連携・協力しながら学習の習熟に取り組み、基礎基本の定着を図っていく。

### ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- ・学習面においては、家庭学習の習慣化と自分で計画を立てて学習することの大切さを、ご家庭よりお子様へお話ししていただくことをお願いいたします。
- ・学校での図書館の貸し出し状況に課題があります。学校でも継続的に読書を薦めていきますので、ご家庭でも、活字から知識を得たり心を揺さぶられたりする機会を増やしてください。
- ・コロナ禍で実施されなかった地域の行事が再開されています。地域の方と触れ合う機会を通して、私たちの生活が地域の方に支えられていることをお子さんと一緒に考え、感謝する心を育てていきたいです。